

なんだ・かんだ

◆ 無電極ランプ ◆

先月号でLEDについて書きましたが、今回も水銀灯に代わる省エネタイプの照明「無電極ランプ」についてご紹介します。

無電極ランプはフィラメントがないので、理論的には球切れが無く、半永久に使用できるランプです。正確には機器部品などの劣化や故障があるので寿命はありますが、6000時間とされています。

以下、無電極ランプについて、水銀灯・LEDと比較してみました。

消費電力：400Wの水銀灯に対して、75～120W程度の消費電力となります。これはLEDとほぼ同等です。

寿命：水銀灯5～6000時間に対して、6000時間とほぼ10倍です。LEDが4～5000時間とされていますが、ランプとしての寿命ではなく、器具としての寿命となります。LEDは発熱が高く高温となるためランプ周辺のゴムや樹脂の劣化が照明器具としての寿命を早めてしまいます。

光の性質：LEDは点光源で直進性の光のため目に刺すようなまぶしい光となりますが、無電極ランプは面光源で、目に優しく感じ蛍光灯のような優しい光となります。

明るさ：水銀灯は半年程度で70%程度照度が低下しますが、無電極ランプはLED同様、短期間で照度低下は無く、長期に渡り明るさを保ちます。また、直線的な光のLEDは光の広がりが少ないため、全体的な平均照度が低くなり、周囲照度を維持するために、比較的設置灯数を増やさなければならぬ傾向があるようですが、無電極ランプの場合は、光の広がりは水銀灯とほぼ同等で、設置灯数の増設は必要ありません。

点灯：水銀灯はスイッチを入れて、一定の照度に達するまで、約10分程度。いったん消灯すると器具温度が下がらないと点灯しないので、再点灯後所定の照度に達するまで数十分かかります。これに比べ、LEDと無電極ランプはスイッチのONとOFFに即時に反応します。従って、不要な時はOFFにして、必要な時だけ使用する事が出来るので、使用方法を工夫することにより、より経済的となります。

経済性：水銀灯400Wの実質消費電力は約480W。1日10時間点灯し、@22円/kwhとすると、年間250日稼働で26400円。無電極ランプでは同じ照度を得るためには100W程度の消費電力となりますので、約5500円と約8割お得！イコール省エネ！！

現在当社では「エネブライト」という商品のご紹介させていただいておりますが、無電極ランプは他に、パナソニックで「エバーライト」という商品名で製品化されています「エネブライト」との相違は、発光のための使用周波数の違いにあります。また、輸入品でいくつかの製品があるようです。

省エネ・経済性面ではLEDとほぼ同じくらいのメリットがあると思いますが、照度的には「無電極ランプ」に軍配が上がると思われます。



■ 今年もクールビズ ■

今年も6月1日よりクールビズを実施します。クールビズという言葉が一般的に広がったのは2005年。小泉首相時代に始まったもので、今ではすっかり定着しています。当社では2008年から実施しており、今年で4年目となります。今年には特に震災の影響ですでに5月からクールビズを実施している企業も多くあるようです。当初東日本だけ計画停電を避けるために、夏場の節電についてが強く言われていましたが、今や原発問題で、日本にある原発の内、浜岡を始め3割が停止している状況です。今年も暑くなりそうです。夏場のピークカットにクールビズは欠かせません。



若い力

今月は何かとあわただしい月で、気がついたら月末。当通信も月末ギリギリの発行となってしまいました。そして27日には、ここ東海地方と関東甲信越地方で平年より十二日早く、昨年よりも十七日も早い梅雨入りがありました。おまけに大きな台風まで発生し、前線を刺激して大雨を降らしています。地震で緩んだ地盤が崩れるのではないかと心配です。大事に至らなければよいのですが。

さて、当社では昨年末から来年度の新社員の採用活動をして参りました。報道系の合同会社説明会と求人サイトで学生さんへアプローチし、単独の会社説明会→面接→適性試験→面接を数クール行った上で、今月半ばに内定を出すという長いスケジュールの中、組織を横断した採用プロジェクトチームを組んで活動して参りました。結果、何とか一人やる気のある、洗練とした学生さんに内定を出すことが出来ほっとしているところです。来年の春には皆様に紹介できると思います。巷では、地震・原発事故と厳しい状況ですが、当社では明るいニュースの一つです。今後若い力を持つて更に飛躍していきたいと思えます。

代表取締役 服部 敏一郎

社員復帰

● 森直子 ●

出産そして、育児のため1年間お休みを頂いておりました、建設部2課の森直子が今月の16日から復職をしました。一言ご挨拶を。

産休、育児休暇で一年余りお休みをいただいておりますが、この5月16日より復職いたしました。一年間子育てに専念する事ができ、まわりの皆様には大変感謝しております。去年4月に女の子を出産し、初めての子育てに毎日奮闘しております。最近では子供も保育所での生活にもだいぶ慣れてきた様で一安心です。

社内では事務的な仕事をしながら、営業活動も続けて行っております。今まではまた違う目線で、リフォーム等のご提案をお客様にすることができればと思っております。

まだまだこれからもまわりの皆様へ、ご迷惑をおかけすることが多くなってしまおうと思いますが、今後ともよろしくお願い致します



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思えます。次回からの発送を中止させていただきます。

・ 株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/